

EA21

環境経営レポート

2021年度版

期間： 2020年10月～2021年9月



承認印

株式会社 サンエー精機

2022年3月18日 発行

(株)サンエー精機 環境方針

基本理念

株式会社 サンエー精機は『豊かな心と夢を持ち
信頼されるプロダクトで 日本のものでづくりを支えます』を社是とし、
射出成形機部品及び、工作機械部品(精密シャフト類)等の製造を
していますが、当社の事業活動を進めていく中で環境保全に取り組む事が
将来の世代に住みよい社会と豊かな自然を伝える事に貢献すると考え、
環境法規の遵守は当然のこととし、地域社会を構成する企業市民としての
責務を果たします。

行動方針

私たちは、当社の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限に留めるために、
以下の行動に取り組みます。

私たちは5S活動と廃棄物削減に取り組み

地球資源の有効活用と省エネにチャレンジを続けます

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源に努めます。
- ② 廃棄物の削減とリサイクルに努めます。
- ③ 事業活動に関連する環境法規の順守に努めます
- ④ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底に努めます。
- ⑤ 環境負荷の少ない加工技術、治具の開発に努めます。

この方針に基づいて社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組む為
に取組方針、取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和元年 10月 25日

株式会社 サンエー精機

代表取締役社長 **山本 伊智郎**

【組織の概要】

1. 事業所名
株式会社 サンエー精機
2. 代表者名
代表取締役 山本伊智郎
3. 事業所所在地
〒929-1173
石川県かほく市遠塚口27番地
4. 環境管理責任者及び連絡先
環境管理責任者 EA21チームリーダー 釜田 芳彦

連絡先 株式会社 サンエー精機
電話 076-285-1728
FAX 076-285-0750
5. 事業活動内容
普通鋼、特殊鋼(ステンレス、銅合金)などを研削し、工作機械部品・射出成形部品及び環境関連製品の部品の製造。

6. 事業規模

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	百万円	1326	1002	995
従業員数	人	45	46	47
敷地面積(本社)	m ²	3,271	3,271	3,271
敷地面積(第2)		2,576	2,576	2,576
敷地面積(合計)		5,847	5,847	5,847

7. 認証・登録の対象範囲

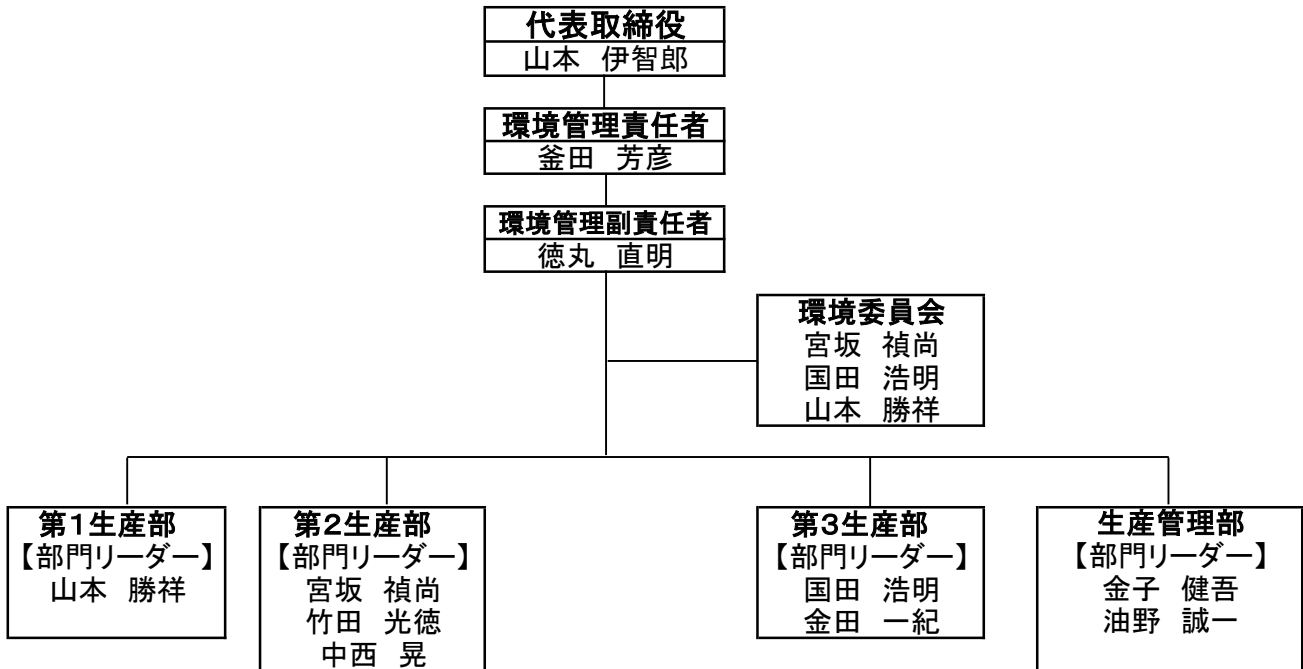
対象事業所

- (本社・第一・第三工場) 石川県かほく市遠塚口27番地
(第二工場) 石川県かほく市遠塚ハ11番地

事業活動

工作機械部品・射出成形機部品及び環境関連製品の部品の製造

(株)サンエー精機エコアクション21組織図



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	①環境方針の策定、従業員への周知 ②環境目標の承認 ③経営資源(人・もの・金)の用意 ④環境マネジメントシステム取組状況の評価及び見直し ⑤環境管理責任者、環境委員等の任命
環境管理責任者 環境管理副責任者	①EA21ガイドラインに基づく環境経営システムの構築・運用 ②EA21文書類の作成 ③環境方針の立案 ④環境方針、環境目標、環境活動計画の立案、周知及び実施・管理 ⑤環境法規制等の情報収集、管理 ⑥従業員へ教育、研修実施計画の作成・実施 ⑦緊急事態対応処置の実施
環境委員	①環境目標の審議 ②EA21運営に関する事項の審議 ③EA21実施状況の審議(年数回)
部門リーダー	①自部門の環境目標の実施状況の管理(確認、記録、報告) ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画の従業員への周知 ③環境活動計画の取り組み指示
従業員	①環境保全活動への積極的な参加

【環境負荷の概要】

No	環境負荷	総量			
		2017年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	二酸化炭素排出量(t-CO2)	625	612	577	572
2	廃棄物排出量(t)	145	168	153	157
3	総排水量(m ³)	988	966	963	974

※二酸化炭素排出量を算出に使用した電力の排出係数

0.542(kg-CO2/kWh)

【中長期環境目標】

わたしたちのミッション

「超一流の技術力×設備力×人財力で、世界で戦う日本のものづくりを支える」

このミッションを基に、2017年を基準年として2023年までの中長期戦略を策定しております。

中長期環境経営目標は、中長期戦略と整合して次の通り策定します。

また、当社はSDGs(持続的な開発目標)の趣旨に賛同しエコアクション21の活動と次の通り関連付けて活動してまいります。

SDGsの目標	6	7	8	9	11	12	13
	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を
中長期環境経営目標	安全な水と持続可能な管理	クリーンエネルギーを皆に	高い生産性を達成する	産業と技術革新の基盤を作る	住み続けられる街づくり	つくる責任、つかう責任	気候変動の軽減及びその影響
1 二酸化炭素排出量の削減 2017年を基準年として2023年までに売上高当たり6.5%削減する。 ・設備導入 1.5% ・工場における小改善 5.0%		●					●
2 廃棄物排出量の削減 2017年を基準年として2023年までに売上高当たり5%削減する。				●		●	
3 水使用量の削減 2017年を基準年として2023年までに売上高当たり5%削減する。	●						
4 就業時間の効率化 就業時間当たりの売上高を向上する			●			●	
5 環境負荷の削減と、より確かな、高い精度の要求に応える 環境負荷の少ない加工技術、治具を開発する			●	●			
6 技能及び技術能力の向上する 技能検定年1回取得 プラスワン育成			●	●			
7 会社周辺及び職場内をキレイにする ・会社周辺の清掃活動の実施 ・5S活動の実施					●		

【年度環境目標】

新型コロナ等、状況の大きな変化を考慮して2021年度を新たに基準年として年度目標を設定し直す事とする。

- ・二酸化炭素排出量は2021年度(2020年10月～2021年9月)を基準年度として、毎年1%プラス、前年度に省エネ設備の導入があった場合 省エネ設備による計画改善効果とする。
- ・廃棄物排出量、総排水量は2021年度を基準年度として、毎年1.0%ずつ削減して行く。
- ・就業時間の効率化は2021年を基準として、毎年1%ずつ上昇して行く。
- ・環境負荷の少ない加工技術、治具の開発は、年間5件以上開発していく。

No	環境目標		基準値	年度目標		
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	二酸化炭素排出量削減 (電気使用量の削減)	目標値 (kg/百万円)	496.28	↓1% 491.32	↓2% 486.35	↓3% 481.39
2	廃棄物排出量削減 (金属くず等の削減)	目標値 (t/百万円)	0.128	↓1% 0.127	↓2% 0.125	↓3% 0.124
3	総排水量削減 (水使用量の削減)	目標値 (m ³ /百万円)	0.979	↓1% 0.969	↓2% 0.959	↓3% 0.950
			基準値 2021年度			
4	就業時間の効率化 (時間当たりの売上の増加)	目標値 (百万円/就業時間)	0.502	↑1% 0.507	↑2% 0.512	↑3% 0.517
5	環境負荷の少ない加工技術、治具の開発		目標値 年間5件	年間5件	年間5件	年間5件
6	会社周辺の清掃活動		年間14回			

電力の排出係数:0.489(2020年の係数)

【主要な環境活動計画の内容】

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ①照明の時間外消灯に努める。
- ②空調の冷暖房管理(温度、時間等)を徹底する。
- ③不使用設備の節電管理を徹底する。
- ④加工効率を高め稼働時間の短縮に努める。
- ⑤コンプレッサーやエアーガンの空気漏れを定期的にチェックする。



2. 廃棄物排出量の削減

- ①工程内不良製品の発生を抑える。

3. 水使用量の削減

- ①手洗い時の節水に努める。
- ②蛇口の閉め忘れ防止を徹底する。

4. 就業時間の効率化

- ①多能工化を進め、残業時間を削減する
- ②加工時間の短縮に努める。
- ③加工予定の最適化に努める。

5. 環境負荷の少ない加工技術、治具の開発に努めます

- ①加工工程の見直しに努める。
- ②治具の開発による加工時間の短縮に努める。
- ③寿命の長い工具やチップ等、調査して購入する。

6. 清掃活動の実施

- ①冬季を除き、月2回(年間16回)会社周辺の清掃活動を行う。

【環境活動の取組結果と評価 ・ 次年度目標と取組内容】

・今回の環境活動の取組期間は2021年度版(2020年10月～2021年9月)の1年間で、2022年度以降は2021年度をwithコロナ時代の新基準としていく。
基準年の2017年度(2016年10月～2017年9月)の1年間と比較をした結果は以下の通りであった。

環境目標	基準期間 2017年度 (10月～9月)	取組期間 2021年度 (10月～9月)	増減 (%)	評価	次年度 目標
二酸化炭素排出量削減 (kg/百万円)	576.00	549.90	-5%	○	↓1% 541.84
廃棄物排出量削減 (t/百万円)	0.126	0.128	+1%	×	↓1% 0.127
総排水量削減 (m ³ /百万円)	0.911	0.978	+7%	×	↓1% 0.969
	2018年度	2021年度			
就業時間の効率化 (時間当たりの売上の増加)	0.623	0.502	-20%	×	↑1% 0.507
	年間目標				
加工技術、治具の開発 (件数)	5件	5件		○	5件

1. 二酸化炭素排出量

(結果) ・基準年に対して売上高当たり3%減の所、5%で達成となった。

(原因分析) ・2021年度は減少していた仕事量も後半に回復してきた為何とか達成できた。

(原因) ・減少していた仕事量が後半回復してきたので業務効率が上がり、正常な業務に戻りはじめた。

(是正処置) ・2021年度仕事量の増加が見込まれるので、業務効率をさせる。
・二酸化炭素排出量の環境活動計画の取り組みを見直す。

2. 廃棄物排出量

(結果) ・廃棄物排出量は、2017年度に対して2.4%の減少となった。

(評価) ・コロナウイルスの影響で残業がほぼ無くなり、加工不良が減った為、廃棄物の量を削減できた。

(次年度の取組内容)

- ・多能工化で情報を共有するようにして、引き続きポカミス撲滅運動を強化し継続していく。
- ・全数不良が繰り返し発生しない様に情報を共有していく。

【環境活動の取組結果と評価 ・ 次年度目標と取組内容】

3. 水使用量

(結果) ・基準年に対して売上高当たり3%減の所、+7%と未達成となった。

(原因分析)

- ・2021年度は仕事量が回復すると共に新しい分野の半導体部品の洗浄に水を消費するようになり増加傾向になった。
- ・売上高当たりで+7%、総量では2%削減している。

(原因)

- ・半導体製造装置部品の洗浄での使用量の増加

(是正処置)

- ・水使用量の環境活動計画の取組を見直しする。
半導体製造装置部品の洗浄での節水が出来ないか検討していく

4. 就業時間の効率化

(結果) ・就業時間の効率化は20%の減少となった。

(評価) ・コロナ下で濃厚接触者扱いで出社出来ない等
今までと同様の効率化は難しかった。

(次年度の取組内容)

- ・2021年度をwithコロナ時代の新基準として再度効率化を図っていく。

5. 加工技術、治具の開発

(結果) ・目標の設定をし5件開発できたので目標達成できた。

(評価) ・治具の開発により効率が上がったので、来期も目標達成を目指します。

(次年度の取組内容)

- ・加工時間短縮につながる治具を社員で提案していく。